



# やわらぎ会通信 Vol.36



薫風—風薫る五月、初夏の爽やかな風が心地よく吹いて...といたるところですが、今年はよく雨が降りますね。早々と入梅でしょうか？入梅が早いと猛暑だとか、いろいろ説がありますが、今年はどうな夏がやってくるのでしょうか。

## かかりつけ歯科医初診制度

社会人大学院も1年目の後期に入りました。これから4ヶ月間、水曜日と金曜日の夜間授業が続きます。5月21日には『医療事故と法』という講義を受けました。その中で大変良い事を教えていただきました。「医療の本質は患者の望みを聞いて理解して、その望みをかなえたり、理想に近づけるべく努力する事で、この行為がいわゆるインフォームドコンセント(説明と同意)である」という事でした。

かかりつけ歯科医初診はこの目的で制定されました。

やわらぎ会歯科診療所では、初診で患者様が来院された際、まず主訴に関してお口の中のデジタル写真やレントゲン写真を撮り、それを見ながら痛みや不具合の原因説明を行い治療に入ります。そして会計の時に治療計画を書いた文書を渡しています。

これが本来のかかりつけ歯科医初診になります。デジタル写真や治療計画を作成しますので、通常の初診料(1800円\*)より少し高いかかりつけ初診料(2740円\*)になります。初診時に、デジタル写真やレントゲン写真を見ながら、治療をする側と受けられる側が問題を確認しあって治療を始めるということは、医療事故を防ぐためにも大変良い方法だと思います。

この度このかかりつけ歯科医初診制度をめぐって、贈賄で日本歯科医師会の会長が逮捕されたという事件は、まだ皆さんの記憶に新しいかと思えます。

私達やわらぎ会歯科診療所では、本来のかかりつけ歯科医初診制度の主旨を守っていきたくと考えています。

\*1点10円の場合。患者さんからは自己負担分(0~3割)をいただいています。



## 歯に信頼マーク

耳より  
コーナー



このロゴマークを見たことがありますか？

「歯垢のpHを食後30分以内に5.7より下げない」食品について「歯は唾液のpH(酸性度)が5.5より下がる(=より酸性になる)と、その表面が溶け始める(虫歯の始まり)ので、このマークのついた食品だと虫歯になりにくいというわけです。



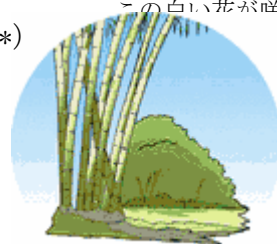
こちらのマークも同じようなもので、生活習慣病の罹患を回避できるように工夫した食品で、厚生労働省が「保健の用途、効果」を表示することを許可したマークです。歯科においては、「歯を丈夫で健康にする食品」「虫歯の原因になりにくい食品」があります。

虫歯にならないために...色々な角度から虫歯予防を考えてみたときに、間食として食品を選ぶときの、チェック項目にはいかがでしょうか？



桜の季節のピンク色から、葉桜の黄緑、そして一雨ごとに鮮やかな新緑へと黄金山の緑は日々目を楽しませてくれます。そんな新緑の中で日々黄色く色づいていくのが竹の一群です。“竹の秋”という季語が春のものと学生時代に知って、「へー、春なのに秋？」と思ったことをいつもこの季節に思い出します。

竹は60年に一度白い花を咲かせて枯れてしまうという子供の頃に聞かされて、60年とは随分長い周期だと思ったものです。中学生の頃田舎の裏山の竹やぶにこの白い花が咲いて、広がった竹やぶが本当になくなってしまっ



たのです。30年近く経って数年前からまた竹が生えてきたという話を聞くと、またへーと思ってしまいます。長いと思った60年も過ぎてしまえばあつという間ということをするようになるのでしょうか。山は夏に向かつて緑の濃さを増しています。時には山を眺め、空を見上げ、と時を大事にしたいと思う初夏の一コマでした。



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成16年4月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には同封されていません。また患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成16年 5月20日号  
編集発行人 藤田 和也  
編集者 山下 剛史